

令和3年度 第1回宍粟市環境審議会の意見等への対応

1. 林業の6次産業化について

【意見】 6次産業化というよりは連携を取って事業を推進していった方がいいのではないかと。流通によって林業の方が生活できるようになっていかないと持続性が保てないと思うので、単なる6次産業化だけでいいのか疑問である。

【対応】 下記のとおり P36 の内容を修正いたします。

森林の整備と活用の取組

| | |
|-------------------|--|
| 宍粟材の流通拡大 (修正前) | 「ひょうごの木」利用拡大協議会等を通じた、6次産業化等により、市内事業者が積極的に宍粟材を活用できる仕組みづくりを行い、宍粟材のさらなる普及促進を図ります。 |
| 宍粟材の流通拡大 (修正後) | 「ひょうごの木」利用拡大協議会等を通じた、川上から川中、川下の林業事業者や国・県と連携し、 <u>6次産業化を含め宍粟材が積極的に利用される仕組みづくりを行い、宍粟材のさらなる普及促進を図ります。</u> |

2. 農村環境の維持の取組について

【意見】 担い手不足や高齢化対策の方向性として、ドローン等の技術の活用やスマート農業等のキーワードを可能な範囲で書き込むことも検討していただきたい。

【対応】 下記の内容を素案(案) P44 に追加いたします。

農村環境の維持の取組

| | |
|---------|--|
| 先進技術の活用 | 担い手不足への対応として、農業経営のイノベーションに向けて、ドローンや AI 技術等の新たな技術を活用した農業機械・施設の導入を推奨します。 |
|---------|--|

3. リチウムイオン電池の火災事故について

【意見】 リチウムイオン電池等によって火災が発生するという問題もあるということをコラム等で書いていただくと流れが分かりやすくなると思う。

【対応】 下記の内容を P66 に追加いたします。

【ごみ処理場の火災について】

当市から排出されるごみの処理を行っている「にしはりまクリーンセンター」で、不燃ごみや粗大ごみを破碎処理する際に火災が発生しています。2020 年に 30 件の火災が発生しており、その内 23 件はリチウムイオン電池が原因となる物でした。火災を防ぐためにも、正しい電池の出し方にご協力をお願いします。

(写真) 消火後のリチウムイオン電池



○ 火災事故防止のために

- ① 電子タバコやゲーム機など、リチウムイオン電池等を含む機器は、特殊ごみに分別し出してください。
- ② スプレー缶、ライターなどは必ず中身を使い切ってから、不燃ごみで出してください。
- ③ ストーブなどの燃料を使用するものは、燃料を使い切ってから、粗大ごみで出してください。